

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 新人大会

27年12月19日 時刻 9:30

女子 【準決勝】

東香里	40	{	12 - 6 19 - 6 5 - 7 4 - 13	}	32	寝屋川九
-----	----	---	-------------------------------------	---	----	------

第1PD

東香里④⑦⑧⑨⑩、寝屋川九⑥⑦⑧⑨⑪でスタート。

両チームともディフェンスはハーフコートマンツースタート。東香里はボールをポストに集めるも攻めきれず、寝屋川九はセットオフェンスでスクリーンを駆使し、⑪のミドルで先制。しかし、東香里も⑧のポストプレイや⑨のインターセプトからの速攻で反撃、得点が動かない時間が続いたが、12-6で終了。

第2PD

東香里④⑦⑧⑩⑭、寝屋川九⑥⑦⑧⑨⑪でスタート。

開始直後、寝屋川九はファウルを連続し、フリースローを二つ与えてしまう。オールコートマンツースタートを仕掛けるも、あまり時間をかけさせられない。そのあいだ、東香里は⑧の2P、⑥の3Pなどで得点し、残り4分で寝屋川九のタイムアウト。しかし、タイムアウト明け、東香里⑧のインサイドプレーを止めきれずファウル。⑥のブレイクなどもあり、31-12で終了。

第3PD

東香里④⑦⑧⑨⑩、寝屋川九⑥⑦⑧⑨⑪でスタート。

開始から両チームともディフェンスを頑張り、得点が動かず。寝屋川九はコフィンでのダブルチームやローポストへの素早い寄り、東香里を苦しめるも、残り4分に東香里⑦のリバウンドシュートで先制。寝屋川九は⑨のフラッシュから⑪の3Pなどで反撃するも、36-19で終了。

第4PD

東香里④⑥⑦⑧⑨、寝屋川九⑥⑦⑧⑨⑪でスタート。

開始直後、寝屋川九⑪がブレイクで先制。インサイドによるも、ファウルを重ねてしまい、⑪がファウルアウト。しかし、寝屋川九は⑦のブレイクやミドル、⑧のドライブから⑨への合わせ、⑥のインターセプトからの2連続速攻で猛追し、5点差となる。東香里は残り約2分でたまたまタイムアウト。しかし、東香里が逃げ切り40-32で試合終了

(記録者 はすはな中 島村)

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年12月19日 時刻9:30

女子 【準決勝】

長尾西	49	{	17-7 22-14 6-6 4-14	}	41	枚方四
-----	----	---	------------------------------	---	----	-----

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧ オレンジ④⑤⑦⑧⑨ 両チームハーフコートマンツースタート。

両チームボールに対し激しくあたり、オフェンスは攻めきれない。それでも白は⑤のドライブやあわせのプレーで得点していく。対してオレンジはセンタープレーやリバウンドシュートで得点をねらうが、攻めきれず。両チーム、メンバーチェンジでリズムをつかもうとするも、17-7で1PD終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧ オレンジ④⑤⑦⑧⑩ 白は、ボールへのプレッシャーが激しく、パスカットからの速攻でリードを広げる。それに対し、オレンジは⑤の連続3Pなどでいきさがる。終盤タイムアウト

後から、白はオールコートでプレスをかけ、即効につなげる。39-21で2PD終了。

第3PD

両チーム④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームともプレスをかけ、即効を仕掛けるが、ディ

フェンスの戻りも速く、シュートを決めきれず。それでも白は⑩のドライブからのあわせで得点する。オレンジは終盤パスカットから速攻でファウルをもらい、フリースロー。両チームともディフェンスの頑張りが光り、45-27で3PD終了。

第4PD

出だし、オレンジはオールコートプレスが決まり、リズム良く、得点を重ねる。白はタイム

アウトをとり、リズムを取り戻す。お互いディフェンスでが貼り、シュートを決めさせない。オレンジは終盤、追い上げるが、届かず、49-41で長尾西が勝利した。

(記録者 門真五中 藤林)

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 新人大会

27年12月19日 時刻12:50

女子 【決勝】

長尾西	56	{	10-8 17-6 14-19 15-10	}	43	東香里
-----	----	---	--------------------------------	---	----	-----

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑦⑧⑨⑩でスタート。両チームとも、ディフェンスはマンツーマン。

長尾西は小さいながら、リバウンド、ディフェンスで粘り、速攻から⑧のミドルシュート、また、裏を使ったプレイで得点する。東香里はパスランからの1対1で勝負し、エンドスローインからのプレイを確実に決め、両チーム互角のスタートとなった。

第2PD

長尾西は、ディフェンスで、インサイドを中心に守り、インターセプトからの即効で、流れをつかむ。④～⑦への即効での絶妙なパスからの特典で更にリズムに乗った。東香里は1対1やインサイド

で攻めようとするが、ディフェンスを抑えられ、そういった中、⑨のバックシュートや1対1、⑩のリバウンドシュートでなんとか食らいついていった。

第3PD

東香里は粘り強く⑨や⑧のインサイドで攻め、またインサイドを抑えられた時は、インサイ

ドから外へのあわせで勝負し、セットプレーも交えながら、速い展開で得点を重ねる。長尾西は、積極的なディフェンスでインターセプトをねらい、⑦、⑤のミドルシュートで攻める。少しファウルトラブルに苦しんだが、ディフェンスを頑張り、3PDを4点差で逃げ切った。

第4PD

東香里は、ディフェンスを積極的に頑張り、⑨のインサイド、⑨のインサイドからの合わ

せ、⑭のリバウンドシュート、⑧の1対1で、得点につなげていく。しかし、長尾西の④の力強い1対1、⑤のミドルシュートで確実に得点を重ね、さらには⑥の外からのシュートがいいタイミングで決まり、最後は逃げ切って東香里が優勝を勝ち取った。両チームとも、粘り強いディフェンスで、速い展開で見ごたえのある決勝戦であった。